

令和5年度

# 事業報告書

社会福祉法人

鹿沼市社会福祉協議会

# 目次

## I 適切な法人運営と施設管理

1. 法人運営の確立	
(1) 会議・研修等の開催	1
(2) 会員制度の勧奨	2
(3) 第1期経営安定化計画の策定	3
2. 効率的で適正な施設管理・運営	
(1) 総合福祉センターの管理運営	3
3. 鹿沼市社会福祉振興基金の活用	3

## II 総合的な福祉事業の推進

1. 福祉啓発の充実・強化	
(1) 「社協だより」の発行	4
(2) 令和5年度鹿沼市地域福祉振興大会の開催	5
(3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞	5
(4) 啓発物品の配布等	5
2. 関連団体と協働した事業の展開（赤い羽根共同募金）	
(1) 福祉団体等の主体的な活動促進	6
(2) 関係機関との連携	6
3. 支援を要する世帯等への支援	
(1) 生活福祉資金貸付事業	7
(2) 生活つなぎ資金貸付事業	7
(3) 赤い羽根一時給付金	8
(4) 災害等見舞金支給実績	8
(5) フードバンクによる支援	8
(6) お米の配布会	8
(7) 法人後見事業	8
(8) 日常生活自立支援事業（あすてらす）	9
(9) 生活困窮者自立支援事業	9
(10) ひきこもり家族会	10

## III 地域福祉活動の推進

1. 地区社協の活動支援と連携促進	
(1) 第4期地域福祉活動計画の推進	11
(2) 第1層協議体「鹿沼市地域支え合い協議体」の取り組み	11
(3) 地域の主体的な活動促進	12
2. 鹿沼市みまもり隊の支援	13
3. 移送サービス事業	13
4. CAMP CAMP FES 2023の開催	13

---

## IV ボランティア活動の推進

1. ボランティアの発掘と育成	
(1) ボランティア団体等の育成支援とネットワークづくり	15
(2) ボランティア講座の開催と活動促進	15
(3) ボランティア団体等への支援	17
(4) 福祉機材の貸出	19
(5) 寄附事業の運営	19
2. ボランティア活動と企業との連携	
(1) 企業との連携	20
3. 日本赤十字社活動の実施	20

## V 災害対策事業

1. 災害支援の対応	21
2. 研修・会議等への参加	21
3. 講座の開催～はじめての災害ボランティア講座の開催～	22
4. 災害支援プロジェクトかぬまの立ち上げ	22

## VI 介護・障がいと自立支援

1. 介護保険事業の推進	
(1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）	23
(2) 通所介護事業（デイサービス）	23
2. 心配ごと相談事業（介護相談）の実施	25
3. 障がい福祉サービス事業の推進	
(1) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業	25
(2) 研修・会議等への参加	25
(3) 虐待防止委員会・設置・開催	25

## VII 養護老人ホーム「千寿荘」の運営

## VIII 高齢者福祉センターの運営

---

## <参考資料>

1. 社協職員の研修会、会議等への参加状況	
2. 会費（年度別状況）	
3. 総合福祉センターの利用状況	
4. 表彰受賞者	
5. ボランティアセンター登録団体	
6. 共同募金の状況	
7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況	
8. 障がい福祉サービスの提供状況	
9. 鹿沼市高齢者福祉センターの利用者数累計表	

## I. 適切な法人運営と施設管理

各種施策の推進母体としての適切な法人運営と運営基盤の強化を図るとともに、地域の福祉活動拠点として効率的な施設運営に努めた。

## 1. 法人運営の確立

## (1) 会議・研修等の開催

①理事会、評議員会等により適正な法人運営と幅広い情報収集に努めた。

開催日	会 議	出席者数	内 容
6月 1日	理事会 (第225回)	11名	(1) 令和4年度事業報告の承認について (2) 令和4年度収支決算の承認について (3) 令和5年度第1次補正予算について (4) 職員倫理規定の制定について (5)～(6) 評議員候補者の推薦について (7)～(19) 理事候補者の推薦について (20)～(21) 監事候補者の推薦について (22) 令和5年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について (23) 第192回定時評議委員会の開催について
6月20日	定時評議員 会 (第192回)	13名	(1) 令和4年度事業報告の承認について (2) 令和4年度収支決算の承認について (3) 令和5年度第1次補正予算について (4)～(16) 理事の選任について (17)～(18) 監事の選任について
6月20日	理事会 (第226回)	12名	(1) 会長の選定について (2) 副会長の選定について (3) 常務理事（業務執行理事）の選定について
11月27日	理事会 (第227回)	10名	(1) 令和5年度 第5次補正予算について (2) 地域密着型通所介護事業運営規程の廃止について (3) 定款の一部改正について (4) 理事候補者の推薦について (5) 評議員候補者の推薦について (6) 第2回評議員選任・解任委員会の開催について (7) 第193回評議員会の開催について
12月15日	評議員会 (第193回)	8名	(1) 令和5年度第5次補正予算について (2) 地域密着型通所介護事業運営規程の廃止について (3) 定款の一部改正について (4) 理事の選任について
2月27日	理事会 (第228回)	11名	(1) 令和5年度第6次補正予算について (2) 不当要求行為等の防止に関する規定の制定について (3) 定款施行細則の一部改正について (4) 令和6年度事業計画について (5) 令和6年度収支予算について (6)～(7) 評議員候補者の推薦について (8) 役員等賠償責任保険契約の締結について (9) 令和5年度第3回評議員選任・解任委員会の開催について (10) 第194回評議員会の開催について

I. 適切な法人運営と施設管理

3月19日	評議員会 (第194回)	11名	(1) 令和5年度第6次補正予算について (2) 定款の一部改正について (3) 令和6年度事業計画について (4) 令和6年度収支予算について
-------	-----------------	-----	---

②監事監査

実施日	監査人	内 容
5月18日	黒川亨・大塚次郎	令和4年度事業執行状況及び経理状況について

③中間監査

実施日	監査人	内 容
11月 1日	黒川亨・大塚次郎	令和5年度上期の事務執行状況、上期の会計処理状況について

④内部監査の実施 (年2回実地)

実施日	監査人	内 容
6月27日	神山 大、福田 史織	千寿荘の帳簿等各種の管理について
8月23日	大貫 雄一、福田 史織	
12月19日	横山 美乃、福田 史織	
1月19日	神山 大、福田 史織	
6月29日	神山 大、福田 史織	高齢者福祉センターの帳簿等各種の管理について
8月30日	大貫 雄一、福田 史織	
12月19日	横山 美乃、福田 史織	
1月17日	神山 大、福田 史織	

⑤職員研修の実施

職員の資質向上を図るため、全職員を対象とした倫理研修（コンプライアンス研修）を実施したほか、各種福祉の基礎・専門研修等に積極的に参加した。

【参考資料 P28～29】

(2) 会員制度の勸奨

自治会長や地区社協役員等の関係者の協力により、会員の確保に努めた。

<会費募集結果>

( ): 前年度比

会費区分	世帯数 (件)	口数 (口)	計 (円)
普通会費 (1口 500円)	17,697	17,851	8,929,138 (4%減)
賛助会費 (1口 2,000円)	53	54	104,000 (5%減)
特別会費 (1口 3,000円)	20	24	73,000 (11%減)
団体会費 (1口 5,000円)	109	138	678,770 (29%増)
合 計	17,879	18,067	9,784,908 (2%減)

【参考資料 P30】

## I. 適切な法人運営と施設管理

### (3) 第1期経営安定化計画の策定

法人の経営状況が厳しくなりつつある中で、今後の本会の経営改善・強化の基本となる組織、財務に関する明確な方向性や指針、介護保険事業や施設経営について、13名で構成されたプロジェクトチームを結成し、チーム内に3つのワーキングチーム（組織強化・財務強化・事業強化）設置し、現状の把握と課題解決の具体的な取組について、合計6回の会議を実施し、令和6年度から8年度までの3年間を計画期間とした「第1期経営安定化計画」を策定した。

## 2. 効率的で適正な施設管理・運営

### (1) 総合福祉センターの管理運営

ボランティア・各種登録団体・施設等に会議室や機材を無償貸出しをすることにより、施設の有効活用を図った。また、利便性や安全性を担保しながら、引き続き感染症対策を実施し、変化していく利用者ニーズに対応した福祉活動拠点に相応しい効率的な運営に努めた。

施設管理においては、竣工後35年が経過するなかで、建物や設備の老朽化に伴う不具合が生じることもあるが、安全かつ安定した施設運営を行うため、予算の範囲内で計画的に修繕を行う。また、節電の促進を図るなど、SDGsの一環として取組み、適正な保守管理に努めた。

#### <会議室等の利用実績>

単位：件、人

	午前		午後		夜間		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
小会議室	28	165	26	138	11	62	65	365
中会議室	289	560	289	560	43	513	621	1,633
大会議室	138	2,568	116	1,948	36	799	290	5,315
和室	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉活動の広場	22	196	65	726	43	550	130	1,472
生きがい広場	94	1,128	152	1,193	12	164	258	2,485
合計	571	4,617	648	4,565	145	2,088	1,364	11,270

【参考資料 P30】

#### <団体事務室の利用実績>

団体名	利用日数（日）
鹿沼市ボランティア連絡協議会	0
つくし会	0
鹿沼市老人クラブ連合会	204
合計	204

## 3. 鹿沼市社会福祉振興基金の活用

### (1) 基金の保管状況（詳細は、令和5年度決算書参照）

寄附金の一部を普通預金、定期預金、債券の形に変えて保管。利息を活用し補助事業を行った。

### (2) 利息収入を活用した団体補助

利息収入を活用した団体補助団体名	金額（円）
鹿沼市自治会連合会	300,000
鹿沼市ボランティア連絡協議会	200,000
鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会	150,000

## Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

多くの関係団体からの協力と相互連携により、幅広い分野に渡る啓発事業や支援事業を展開し、福祉の心を育むとともに、市民ニーズに対応した総合的な福祉施策を推進した。  
 <※当施策は主に共同募金（赤い羽根共同募金）の配分金を財源として実施した。>

### 1. 福祉啓発の充実・強化

#### (1) 「社協だより」の発行

広報紙「かぬま社協だより」を発行し、社協事業の周知を図った。前年度から継続して、団体会員や市内福祉関係機関へ発送することによりPRに努めた。

<「社協だより」の発行状況>

発行部数：毎回 31,000 部（全戸配布）

号数	発行日	主な掲載内容
第 240 号	6 月 25 日	◇第 19 回ふれあいフェスタ in かぬま報告 ◇令和 4 年度事業報告及び決算報告 ◇令和 5 年度社協会員加入・会費納入のお願い ◇令和 5 年度 17 地区担当職員の紹介 ◇各種講座、フードバンクなどのお知らせ
第 241 号	9 月 25 日	◇赤い羽根共同募金運動がスタート ◇CAMPCAMPFES 2023 の開催広報 ◇募金協力店舗の紹介 ◇福祉講座等の開催報告 ◇相談窓口の紹介及び各種講座等のお知らせ
第 242 号	12 月 25 日	◇令和 6 年の新年のご挨拶 ◇赤い羽根共同募金の公募助成募集 ◇CAMPCAMPFES 2023 の開催報告 ◇デイ事業の廃止お知らせ ◇各種活動報告、フードバンクなどのお知らせ
第 243 号	3 月 25 日	◇第 20 回ふれあいフェスタ in かぬま開催広報 ◇令和 5 年度社協会員・会費のご報告 ◇令和 5 年度赤い羽根共同募金運動結果報告 ◇高齢者福祉センターのお知らせ ◇地域活動報告、各種教室、学習会のご案内



◇「社協だより」の発行

## II. 総合的な福祉事業の推進

### (2) 令和5年度鹿沼市地域福祉振興大会の開催

鹿沼市において、誰もが住みやすくやさしい地域社会を目指し、地域福祉の充実とボランティア活動の推進を図ることを目標として、鹿沼市地域福祉振興大会を開催した。

第一部式典では表彰状及び感謝状の贈呈、第二部ではヤングケアラーの経験を活かしその啓発と支援の充実に取り組んでいる栃木県ケアラー協議会委員の仲田海人氏をお迎えし「家族のケアで悩むこどものサポート」をテーマに講演をいただいた。

表彰状・感謝状贈呈者の内訳

① 大会会長表彰受賞者

・地域福祉功労者 7名

② 大会会長感謝状受賞者

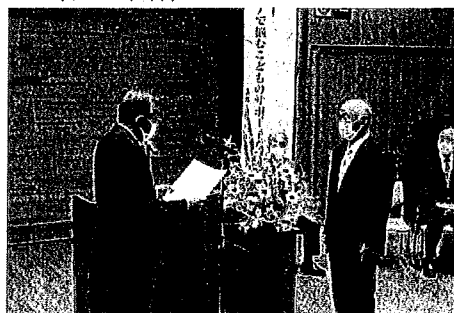
・ボランティア功労者・団体 11名・5団体

〔実施日：令和5年6月22日（木）〕

〔場 所：鹿沼市民情報センター〕



◇大会会長あいさつ



◇地域福祉振興大会式典の様子

【参考資料 P30】

### (3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞

コロナの影響により各表彰部門における代表者のみが栃木県民福祉のつどいに参加をし、以下の表彰を受けた。

◇栃木県民福祉のつどいにおける受賞

開催日 令和5年8月29日（火）

会 場 栃木県総合文化センター 特別会議室

① 栃木県知事表彰受賞者

・共同募金運動協力団体又は協力者 1名

② 栃木県社会福祉協議会会長表彰受賞者

・社会福祉施設・団体関係功労者 21名

③ 栃木県共同募金会会長表彰受賞者

・共同募金功労者 2名

【参考資料 P31】

### (4) 啓発物品の配布等

<赤い羽根ロゴマーク入り黄色い帽子の配布>

市内の小学校へ入学する児童を対象に、赤い羽根共同募金運動の啓発や交通安全を目的として、赤い羽根ロゴマーク入り黄色い帽子を配布した。

◇配布数： 664 個

◇鹿沼市教育長への黄色い帽子贈呈 ⇒



2. 関連団体と協働した事業の展開(赤い羽根共同募金)

(1) 福祉団体等の主体的な活動促進

関係団体の特色ある福祉活動を支援

11 団体 計 850,000 円

また、各種ボランティア団体を対象に、「助成金申請のための勉強会」を開催し、23 団体 29 名の参加があった。

(2) 関係機関との連携

ボランティア団体や企業、鹿沼市関係部署等と連携を図り各種事業を展開した。

<サンタ DE メリークリスマス事業実績>

在宅で生活する知的障がい児に、クリスマスの雰囲気を楽しんでもらうことを目的に実施した。

なお、対象者の確認にあたり、市内の障がい者通所施設や鹿沼市の障害福祉課、福祉事務所等と連携を図った。

援助対象	援助内容	対象数(人)	単価(円)	金額(円)
① 在宅重度知的障がい児	クリスマスケーキ	30	3,850	115,500
② 生活介護施設通所者	チョコレート	151	1,150	173,650
③ あおば園通所児童	おもちゃ券	128	1,000	128,000
合計		309		417,150

※ ①については、鹿沼中央ロータリークラブ、鹿沼市ボランティア連絡協議会、(株)LIXIL トータルサービスの協力を受けてお届けした。

<ひとり親家庭支援事業実績>

児童扶養手当受給世帯を対象に、お米の配布と子どもの思い出作りの一助となる支援を行った。

フードバンクボランティアや鹿沼市ボランティア連絡協議会、鹿沼市ひとり親家庭福祉会、鹿沼青年会議所、(株)LIXIL トータルサービス、(株)ダイナム栃木鹿沼店、Mipox(株)と協働で実施した。

また、対象者への案内については、鹿沼市こども未来部との連携を図った。

希望世帯数	来場者数
106 世帯	247 人



◇お米配布の様子



◇遊び場の様子

II. 総合的な福祉事業の推進

3. 支援を要する世帯等への支援

各種貸付制度等により低所得世帯等に必要な援助をすることで、自立を促し生活の安定を図った。

(1) 生活福祉資金貸付事業

(令和6年3月31日現在)

資金種類	相談 件数	借入れ申請		貸付決定		貸付否決		
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
総合支援資金	生活支援費	6	0	0	0	0	0	
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0	
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	0	
福祉資金	福祉費	21	2	2,630,000	0	0	1	130,000
	緊急小口資金	22	7	667,000	2	200,000	5	467,000
教育支援資金	教育支援費	7	4	5,832,000	2	3,456,000	1	2,160,000
	就学支度費	6	2	485,000	1	231,000	0	0
不動産担保型生活資金		1	0	0	0	0	0	
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	0	0	
合計	63	15	9,614,000	5	3,887,000	7	2,757,000	

令和5年1月からのコロナ特例貸付の返済が始まり、返済の免除・猶予・計画変更等の相談受付等のフォローアップ支援を実施した。なお、令和5年度の県社協承認実績は以下のとおり。

<承認件数>

(件)

資金種類	職権免除	免除申請	猶予申請		計画変更		
			初回	複数回	減額	増額	
コロナ 特例 貸付	緊急小口資金	8	48	23	15	2	0
	総合支援資金初回	6	45	20	9	1	0
	総合支援資金延長	5	51	8		0	0
	総合支援資金再貸	4					

※職権免除の内容については、県社協調査・確認による自己破産・債務整理・債務者死亡等

(2) 生活つなぎ資金貸付事業

貸付件数(件)	貸付金額(円)
41	1,099,000

徴収不能欠損した件数(件)	徴収不能欠損金額(円)
1	18,000

償還指導	督促発送(回)	面接(回)	訪問(回)	電話(回)	住所照会(件)
	3	1	0	3	13

貸付中債権数	貸付債権数(件)	貸付金額(円)
	104	2,295,000

## II. 総合的な福祉事業の推進

### (3) 赤い羽根一時給付金

対象	単価	給付人数合計
生活に困窮している方	5,000 円分商品券	60 名

### (4) 災害等見舞金支給実績

区分	件数 (件)	単価 (円)	金額 (円)
風水害 (半壊)	0	5,000	0
風水害 (流出)	0	10,000	0
風水害 (床上浸水)	0	5,000	0
風水害 (弔慰金)	0	1 人につき 10,000	0
火災 (半焼)	0	10,000	0
火災 (全焼)	0	※20,000	0
火災 (半壊)	0	※10,000	0
火災 (全壊)	0	※20,000	0
火災 (弔慰金)	0	※1 人につき 10,000	0
合計	0	—	0

※については栃木県共同募金会からの配分との合計。

### (5) フードバンクによる支援

市民の方々から寄附していただいた食品を、生活困窮世帯に対して無償で食糧を提供する「フードバンク」事業を行った。

	件数 (件)	米 (kg)	食料 (kg)
食品の受領	395	5,033	2,066
食品の配布	528	4,709	2,446

### (6) お米の配布

フードバンクでお預かりしているお米を有効に活用し、生活の苦しい方々へお米 5kg の無料配布を行った。

開催日：令和 5 年 12 月 13 日 (水) ～15 日 (金)

配布人数 (世帯)：132 名

配布量：660Kg

### (7) 法人後見事業

令和 6 年 3 月 8 日に法人後見運営委員会を開催し、会議や研修、他社協視察 (日光市・下野市) 等の活動報告と法人後見の受任再開に向けて委員の皆様から意見を頂いた。

II. 総合的な福祉事業の推進

(8) 日常生活自立支援事業（あすてらす）

認知症高齢者等が自立した地域生活を送れるよう、生活支援サービス、金銭管理サービス、書類等預かりサービス等の各種サービスを提供した。

7月27日に生活支援員の意見交換会を開催、支援員9名と記録の書き方について情報共有を行い交流を図った。

◇サービス利用対象者

- ・認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等で判断能力が不十分な方
- ・虚弱高齢者、身体にハンディがある方で、在宅生活や入院・入所生活で自立した生活が困難な方

<相談対応実績> 令和6年3月31日現在（単位：件）

問合せ	87
初回相談	21
相談援助件数	2,282
合計	2,390

<契約実績> 令和6年3月31日現在（単位：件）

R4年度契約総数	R5年度新規契約数	R5年度解約数	現契約数
89	18	11	96

(9) 生活困窮者自立支援事業

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づいて、鹿沼市役所内に設置をされた「生活相談・支援センター（愛称：のぞみ）」の運営を受託し、相談員5名を配置して、生活困窮に関する各種相談に対応、就労支援や家計相談を行うことで、対象世帯が生活困窮状態から抜け出せるよう支援した。

<相談対応実績> 令和6年3月31日現在

相談件数：118件（うち就労者数：24名）

活動内容（延件数）

相談内容	件数（件）
病気や健康	8
住まい	6
収入・生活費	60
家賃やローン	7
税や公共料金支払い	5
債務	6
仕事探し、就職	14
仕事上の不安	1
地域と関係	0
人間関係	4
子育て、介護	1
引きこもり、不登校	1
DV、虐待	0
食べるものがない	2
その他	3
合計	118

面接	訪問	関係機関同行	プラン作成
533回	276回	135回	41件

Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

(10) ひきこもり家族会

引きこもり状態になった本人とご家族を支援するため、家族会を開催した。 単位：名

開催日 (毎月第3木曜日)	会場	参加者数(内関係者)
1 令和5年 4月20日	総合福祉センター	5 ( 2)
2 令和5年 5月18日	総合福祉センター	3 ( 3)
3 令和5年 6月15日	総合福祉センター	4 ( 2)
4 令和5年 7月20日	総合福祉センター	3 ( 2)
5 令和5年 8月17日	総合福祉センター	3 ( 2)
6 令和5年 9月21日	総合福祉センター	5 ( 2)
7 令和5年10月19日	総合福祉センター	4 ( 2)
8 令和5年11月16日	総合福祉センター	1 ( 1)
9 令和5年12月21日	総合福祉センター	2 ( 2)
10 令和6年 1月18日	総合福祉センター	1 ( 2)
11 令和6年 2月15日	総合福祉センター	2 ( 2)
12 令和6年 3月21日	総合福祉センター	2 ( 2)
合計		35 (24)

## Ⅲ. 地域福祉活動の推進

地区社協の活動を支援するとともに、地区社協間のネットワークの連携強化を図り、地域における主体的な福祉活動と地域の特色を生かした福祉施策を推進した。  
 <※当施策は主に会費を財源として実施した>

### 1. 地区社協の活動支援と連携促進

#### (1) 第4期地域福祉活動計画の推進

令和4年度に策定した第4期鹿沼市地域福祉活動計画（R4年度～R8年度）に基づき、市内17地区の地区社協が地域の実情に合った福祉活動を推進した。

新型コロナウイルスの感染予防に配慮しながら、地域の支えあい活動やつどい事業、高齢者の介護予防や地域事業への参加を促す地域福祉活動を支援した。

#### <補助金交付実績>

地区社協名	主な事業内容	補助金額（円）
中央地区福祉活動推進協議会	地域福祉推進事業	100,000
合 計		100,000

#### (2) 第1層協議体「鹿沼市地域支え合い協議体」の取り組み

今年度、第1層協議体の委員の改選があり新任・再選を含む11名委員が新たに就任した。

地域における高齢者支援のための体制づくりやサービスの充実を図るために、高齢者の生活支援及び介護予防を推進していくための検討を行った。地域の活動をサポートするために現在の地域包括ケアシステム活動支援金（助成金）について協議し、令和6年度より改正した助成金を施行することと、若い世代とのつながりや担い手やボランティアの参加をどのように募って地域の活性化を図っていくか等について委員の意見交換を行った。

第1層協議体委員 任期：令和5年7月1日～令和8年6月30日

役 職	氏 名	所属名等
委員長	鈴木 節 也	鹿沼市自治会連合会
副委員長	上 澤 孝 重	鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会
委 員	紺 野 勝 寛	スマイルきくさわ第2層協議体
委 員	石 川 佳 男	鹿沼市シルバー人材センター
委 員	須 田 陽 子	鹿沼市ボランティア連絡協議会
委 員	石 綱 秀 行	栃木県生活支援コーディネーター指導者
委 員	井 上 玉 枝	NPO 法人かぬま市民活動サポーターズ
委 員	井 戸 道 廣	粟野商工会
委 員	江 口 侑 弥	鹿沼市地域包括支援センター
委 員	中 村 陽 子	鹿沼市保健福祉部高齢福祉課
委 員	高 橋 年 和	鹿沼市社会福祉協議会

第1層生活支援コーディネーター

第1層 SC	齋 藤 裕 嗣	鹿沼市社会福祉協議会
--------	---------	------------

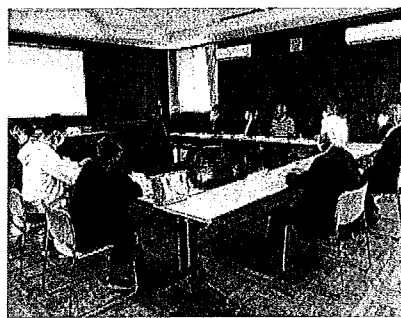
第1層協議体の開催

- ・第1回（令和5年10月27日）
- ・第2回（令和6年3月14日）

### Ⅲ. 地域福祉活動の推進



第1層協議体の様子



協議体委員による意見交換

#### (3) 地域の主体的な活動促進

市内の地区社協活動を支援するために助成金を交付したが、コロナ禍を経て事業が少しずつ再開されてきている地区もあった。

#### <地区社協への助成金内訳>

地区社協名	令和5年度の地域福祉活動及び実施事業	助成金額(円)
北部地区福祉活動推進協議会	◇地区防災研修 ◇にこにこ会(高齢者サロン)	1,014,000
中央地区福祉活動推進協議会	◇支えあいボランティア活動 ◇安全安心総合対策推進事業	1,212,000
東部地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問事業 ◇高齢者サロン事業	1,410,000
菊沢地区コミュニティ推進協議会	◇ときめく菊沢ふれあい祭り ◇さくさわスマイル号・スマイルカフェ	1,566,000
東大芦地区コミュニティ推進協議会	◇自治会・民児協・みまもり隊合同研修会 ◇にこにこ弁当事業	504,000
北押原地区福祉活動推進協議会	◇花いっぱい運動 ◇高齢者サロン事業	1,432,000
板荷地区コミュニティ推進協議会	◇草刈り支援部会(ささえあい隊) ◇みまもり隊研修会	368,000
西大芦地区福祉活動推進協議会	◇ふるさと祭り ◇三世代交流事業	278,000
加蘇地区福祉活動推進協議会	◇ほっとサロン事業 ◇地区防災研修	427,000
北犬飼地区福祉活動推進協議会	◇高齢者招待事業 ◇にこにこ弁当事業	841,000
東部台地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問事業 ◇高齢者招待事業	1,674,000
南摩地区福祉活動推進協議会	◇なんまサロン ◇南摩フェスティバル	572,000
南押原地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問 ◇高齢者招待事業	630,000
栗野地区福祉活動推進協議会	◇高齢者サロン事業 ◇福祉まつり(ふる里あわの秋まつり共催)	581,000

### Ⅲ. 地域福祉活動の推進

粕尾地区福祉活動推進協議会	◇地区敬老会事業 ◇福祉まつり（ふる里あわの秋まつり共催）	357,000
永野地区福祉活動推進協議会	◇高齢者輪投げ大会 ◇福祉まつり（ふる里あわの秋まつり共催）	343,000
清洲地区福祉活動推進協議会	◇世代間交流事業 ◇福祉まつり（ふる里あわの秋まつり共催）	418,000
合 計		13,627,000

#### 2. 鹿沼市みまもり隊の支援

高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりを目的に、市内17地区において見守り・相談活動を実施した。

見守り・相談延べ回数（鹿沼市全体）： 38,839回

#### 3. 移送サービス事業

日常生活において様々な事情により、公共交通機関を利用できない市民が、良好な日常生活を送るため各地区のボランティアによる移送サービスを実施した。

地区名	加蘇	西大芦	南押原	栗野	粕尾	永野	清洲	合計
ボランティア登録者数	90人	275人	40人	72人	60人	72人	26人	635人
利用登録者数	87人	108人	90人	79人	138人	24人	36人	562人
ボランティアによる移送回数	16回	31回	43回	34回	94回	46回	21回	285回
コミセン職員による移送回数	0回	11回	0回	3回	0回	0回	2回	16回
運行回数	16回	42回	43回	37回	94回	46回	23回	301回

※上記、登録者数及び回数は延べ数

#### 4. CAMP CAMP FES 2023 の開催

コロナ禍により希薄化した「つながり」を再構築するため、「誰の心の中にもある音楽」というツールを旗印として、今まで福祉に興味関心のなかった若い世代と、各種団体等の人と人とのつながりを紡ぐことを目的として、令和5年11月12日（日）出合いの森芝生広場において「CAMP CAMP フェス 2023」の開催を支援しました。

実施主体は「CAMP CAMP FES 実行委員会」



秋のふれあいコンサート(CAMP CAMP FES Plus)

令和5年11月19日(日)には、株式会社ナカニシ記念ホールをお借りし「秋のふれあいコンサート」を開催しました。

1部は駒崎りらさん(ヴァイオリン)、福田真智子さん(ビオラ)、佐藤はるひさん(ピアノ)のトリオコンサートを、2部には城守香さんによるメゾソプラノコンサートの2部公演でした。

城守香メゾソプラノコンサート



トリオコンサート



## IV. ボランティア活動の推進

コロナの感染対策を図りながら、小中高生向けの講座や学校福祉体験の実施、各種団体や企業と連携し、イベントやボランティア講座等を行い、工夫をしながら市民・団体・企業の福祉意識の向上に努めた。

### 1. ボランティアの発掘と育成

#### (1) ボランティア団体等の育成支援とネットワークづくり

「第19回ふれあいフェスタ in かぬま」の開催支援

コロナの影響で中止になっていた「ふれあいフェスタ in かぬま」が3年ぶりに開催された。

それぞれの団体が力を合わせて行う手作りの祭典「ふれあいフェスタ in かぬま」の開催を支援し、福祉の心の育成と人々のふれあいの輪を広めた。

◇開催日：令和5年4月23日（日）

◇会場：市民情報センター館内及び駐車場

◇実施主体：第19回ふれあいフェスタ in かぬま実行委員会

#### (2) ボランティア講座の開催と活動促進

あらゆる年齢層を対象に、幅広いテーマと具体的な体験学習を通じてボランティア育成に努めた。

##### ①手話・点訳講座の開催

講座名	回数 (回)	受講者数 (名)		備 考
		延べ人数 (名)		
初めての手話講座（初級） 昼の部	7/27～ 9/28	10	14	講師：鹿沼市聴覚障害者協会 1名 鹿沼地区手話通訳者連絡会 1名
			118	
初めての手話講座（初級） 夜の部	7/27～ 9/28	10	15	講師：鹿沼市聴覚障害者協会 2名 鹿沼地区手話通訳者連絡会 1名
			109	
初めての点訳講座（初級）	7/5～ 9/13	10	3	講師：点訳グループ「桐」2名
			23	
合計	30		32	
			250	

##### ②中高生サマースクール（福祉施設体験）の開催

福祉施設での体験を通して、施設職員が利用者とのように関わりを持っているのか、どのような支援をしているのか、また利用者がどんな思いを抱え生活しているのかを感じ、福祉をより身近なものと感じ、自分で考え行動できるきっかけとなることを目的として実施した。

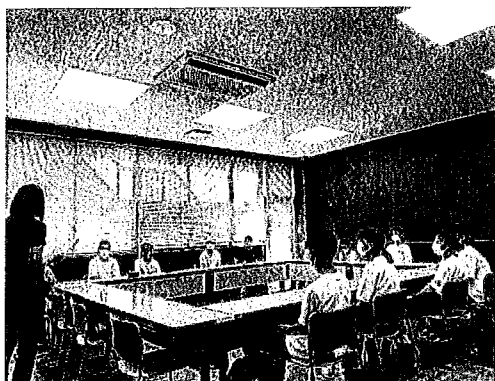
◇開催日 令和5年8月2日（水）

◇対象者 市内中学校・高等学校の学生

◇体験施設 市内障害者支援施設、高齢者福祉施設

◇内 容 ・施設体験  
・グループワーク

◇参加者 13名



◇オリエンテーションの様子



◇福祉施設体験の様子

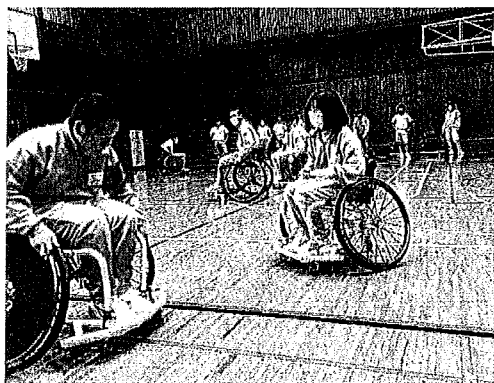
③学校での体験学習開催

小・中・高等学校からの福祉体験の依頼に応じ、福祉体験サポーター（地域住民）や関係機関と協働し、校内で体験学習と講話を実施した。

日時	学校名	内容	参加者 (名)
6月2日	中央小学校(4年生とその保護者)	車いす介助体験・ガイドヘルプ体験・動画視聴	130
9月12日	津田小学校(4年生)	車いす介助体験・高齢者疑似体験	20
9月15日	さつきが丘小学校(4年生)	車いす介助体験・ガイドヘルプ体験	101
10月30日	北小学校(4年生)	車いす介助体験・ガイドヘルプ体験・講話・動画視聴	39
11月9日	栗野中学校(2年生)	車いす介助体験・ガイドヘルプ体験	49
11月13日	みどりが丘小学校(4年生)	車いす介助体験・ガイドヘルプ体験	81
11月16日	栗野中学校(2年生)	車いすバスケットボール体験・ボッチャ体験	49
11月28日	さつきが丘小学校(4年生)	高齢者疑似体験	101
12月6日	粕尾小学校	人権講話(自分ごととして捉える)	38
12月11日	南押原中学校(全校生)	1年生:車いす体験 2年生:高齢者疑似体験 3年生:認知症サポーター養成講座	77



◇講話の様子



◇車いすバスケットボール体験の様子

④学校での体験学習支援

小・中・高等学校のボランティア学習に手話・点訳講師の派遣を行い、自主的な学校事業を促進した。

区 分	手話の体験学習	点訳の体験学習
小学校	20校 (41回)	17校 (33回)
中学校	1校 (4回)	1校 (2回)
高等学校	0校 (0回)	0校 (0回)
合 計	21校 (45回)	18校 (35回)

- ・手話講師…鹿沼地区手話通訳者連絡会及び鹿沼市聴覚障害者協会
- ・点訳講師…点訳グループ「桐」

(3) ボランティア団体等への支援

①ボランティア団体の運営基盤強化

積極的に活動をしているボランティア団体等12団体に活動援助金を交付し、運営基盤の強化を図った。

	団 体 名	援助金該当事業	交付額(円)
1	ボランティアふれあい	高齢者の生きがい活動支援	100,000
2	シルバー大学校鹿沼支部	福祉施設への慰問活動	50,000
3	フラダンスとりあえず	福祉施設への慰問活動	70,000
4	デイジーこだま	市広報紙等のデイジー版製作活動	40,000
5	介護服リフォーム“ミモザ”	障がい者や高齢者等の衣類のリフォーム	45,000

IV. ボランティア活動の推進

6	朗読グループいずみ	会員のスキルアップ研修	100,000
7	日本ボーイスカウト栃木県連盟鹿沼第1団	社会奉仕活動等	100,000
8	日本ボーイスカウト栃木県連盟鹿沼第4団	社会奉仕活動等	100,000
9	要約筆記サークルいちご	聴覚障がい者に PC 等で会議内容を要約する活動	100,000
10	NPO法人レインボー	親子交流活動 (のびのびすくすく)	100,000
11	鹿沼地区手話通訳者連絡会	講演会等での手話通訳	80,000
12	鹿沼市中途失聴難聴者協会	中途失聴者・難聴者に関する相談や交流活動	100,000
合 計			985,000

【参考資料 P31～32】

②福祉教育学校助成金

児童・生徒の福祉意識の向上や学校の福祉教育への取り組みを推進するために、赤い羽根共同募金を財源とした学校助成金配分金を9校に交付した。

	学校名	主な活動内容	交付額 (円)
1	鹿沼市立栗野小学校	福祉体験学習	62,000
2	鹿沼市立みどりが丘小学校	福祉体験学習	81,000
3	鹿沼市立中央小学校	福祉体験学習	60,000
4	鹿沼市立池ノ森小学校	福祉体験学習	100,000
5	鹿沼市立南摩小学校	福祉体験学習	65,000
6	鹿沼市立東小学校	福祉体験学習	100,000
7	鹿沼市立南摩中学校	地域住民との環境美化活動	100,000
8	鹿沼市立北押原中学校	障がい者スポーツへの理解	88,000
9	鹿沼市立栗野中学校	福祉体験学習	100,000
合 計			756,000

IV. ボランティア活動の推進

(4) 福祉機材の貸出

ボランティア等に機材を貸出することにより活動を促進した。

機材名	貸出回数 (回)	機材名	貸出回数 (回)
車椅子	121	着ぐるみ	1
高齢者疑似体験セット (大人)	8	綿菓子機	24
高齢者疑似体験セット (小人)	4	ポップコーン機	14
アイマスク	0	かき氷機	25
白杖	4	焼き芋機	3
パソコン	2	きね・うす	6
スクリーン	27	水槽	5
プロジェクター	44	発電機	6
マイク・スピーカー	2	ドラムコード	16
机	1	クーラーボックス	8
椅子	0	テント (1間×2間)	4
ベンチ	5	テント (2間×3間)	3
ボランティア号 (シエンタ)	92	タープテント	8
ポッチャ	3		
輪投げ	15	合 計	451

(5) 寄附事業の運営

ボランティア活動の調査研究や情報提供を行うとともに、寄附いただいた金品を送金することにより、団体等の活動基盤を強化した。

<寄附金取扱実績>

単位：件、円

寄附金 送金先	4年度繰越金	5年度寄附		5年度送金		次年度繰越金
		件数	金額	件数	金額	
指 定 な し	2,708,067	30	1,263,596	12	985,000	2,986,663
社会福祉団体	4,101,000	26	3,372,664	30	3,823,664	3,650,000
預 金 利 息	0	2	65	1	65	0
合 計	6,809,067	58	4,636,325	43	4,808,729	6,636,663



◇鹿沼木工団地協同組合 様より



◇鹿沼相互信用金庫 様より

## 2. ボランティア活動と企業との連携

### (1) 企業との連携

社会貢献活動に取り組む企業と連携し、事業への参加協力やボランティア団体等の活動支援、イベントの開催を協働で行うことで、地域住民や団体との交流や繋がりを支援した。

## 3. 日本赤十字社活動の実施

5月1日～5月31日を強化月間として日赤社資の募金活動を実施した。  
また、火災等に遭われた方を対象に見舞金及び物資等の支給を行った。

社資合計・・・9,395,348円

災害見舞金	0件	0円
弔慰金	0件	0円

救援物資	布団セット	0セット
	毛布	0枚
	緊急セット	0セット

### 《令和6年能登半島地震災害義援金》

鹿沼市内の公共機関に募金箱を設置し、市民への協力をお願いした。

期間：令和6年1月5日～現在も設置

(鹿沼市地区における実施期間は令和6年12月13日までの予定)

◇災害救援物資



## V.災害対策事業

ポストコロナ時代において、災害支援のあり方も ICT の活用や外部支援を活用しながら地元主体の災害ボランティアセンター運営を行い、被災者の福祉ニーズへの対応を拡充している。

また令和6年能登半島地震による大規模な災害も発生し、義援金の募集による被災地支援、全社協のブロック派遣による災害ボランティアセンター運営支援にも務めている。

### 1. 災害支援の対応

#### (1) 被災地支援の募金運動の実施

被災地支援を目的とした募金運動を展開し、総合福祉センター窓口、市及び関係機関等へ募金箱を設置した。

#### (2) 令和6年能登半島地震の災害ボランティアセンター運営支援における職員派遣

石川県社会福祉協議会の要請により、栃木県社会福祉協議会及び県内市町社会福祉協議会の職員が関東ブロック県・指定都市社協災害時の相互支援に関する協定及び栃木県内社会福祉協議会における災害時支援協定に基づき、当会職員からも職員の派遣を行った。

◇期間 令和6年2月20日～2月26日（第6クール）

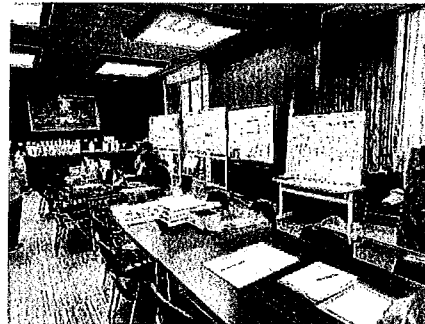
◇派遣先 石川県内灘町災害ボランティアセンター

◇主な内容 災害ボランティアセンターの運営支援（センター運営、現地調査等）

◇派遣人数：4名 鹿沼市社協：1名 ・ 那須烏山市社協（内灘町）：1名  
栃木県社協：1名 ・ 佐野市社協（かほく市）：1名



◇ボランティア活動マッチング



◇災害ボランティアセンターの様子

#### (3) 令和5年台風13号大雨災害における災害ボランティアバスの実施

福島県、茨城県、千葉県に大きな被害をもたらした台風13号の被災地支援のため、災害ボランティア講座の参加者等に募集を行い、被災地支援の活動を実施した。

◇日時 令和5年10月18日

◇場所 福島県いわき市内郷地区

◇主な活動 被災家屋の敷地内の土砂出し及び清掃

◇参加人数 13名

### 2. 研修・会議等への参加

職員の資質向上とネットワークの構築を目的として、各種研修・会議等に参加した。

#### ① 災害ボランティアセンター運営コーディネーター研修中級修了者フォローアップ座談会

（主催 栃木県社会福祉協議会）

職員2名が参加。

#### ② 災害ボランティアネットワーク会議（主催 栃木県社会福祉協議会）

- 職員 2 名が出席。
- ③ 令和 5 年度市町社協災害支援担当者連絡会議（主催 栃木県社会福祉協議会）  
職員 2 名が出席。
- ④ 災害ボランティアセンター運営マネジメント研修（主催 栃木県社会福祉協議会）  
第 1 回（令和 5 年 7 月 31 日）職員 1 名が参加。  
第 2 回（令和 5 年 12 月 25 日）職員 1 名が参加。
- ⑤ 宇都宮大学地域デザインセンター・地域防災シンポジウム（主催 宇都宮大学）  
活動紹介のパネル展示、当会の災害支援における活動の紹介。  
職員 2 名が出席。

### 3. 講座の開催 ～はじめての災害ボランティア講座の開催～

地元における災害時の対応及び支援力の向上と災害ボランティアの普及・啓発を図るため、災害ボランティアの活動の理解とセンターの機能と役割について、座学と模擬センターでのシュミレーション体験を行い、地域住民及び自治会や企業等と連携し講座を開催した。

- ◇期間 令和 5 年 7 月 22 日
- ◇会場 総合福祉センター
- ◇内容 災害ボランティアセンターの機能と役割の理解、災害ボランティアの参加と準備  
災害ボランティアセンター模擬体験等
- ◇人数 19 名参加
- ◇協働 鹿沼市ボランティア連絡協議会、災害ボランティアチームかぬま

### 4. 災害支援プロジェクトかぬまの立ち上げ

鹿沼市における地元の災害支援力の向上と被災された方への幅広い支援の可能性を広げていくことを目的に、市内の様々な団体や機関との連携を図るために「災害支援プロジェクトかぬま」を始動。被災された方に寄り添い、関係機関の顔の見える関係を築き、お互いの専門性（得意分野）の理解を進めていくためにミーティング及び研修会を開催した。

#### 【プロジェクトメンバー】

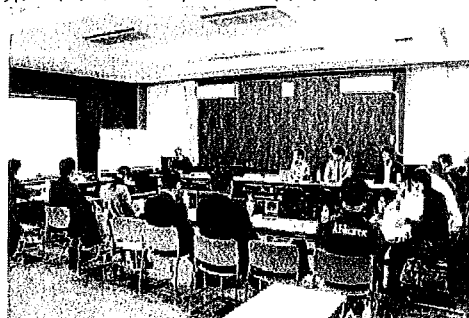
順不同

鹿沼市ボランティア連絡協議会・災害ボランティアチームかぬま・鹿沼青年会議所・NPO 法人鹿沼市民活動サポーターズ・鹿沼飲食業組合・菊沢きずなプロジェクト・災害救援ひのきしん隊栃木教区隊・鹿沼市消防本部地域消防課・鹿沼市消防団・鹿沼市厚生課・鹿沼市危機管理課・鹿沼市協働のまちづくり課・鹿沼市国際交流協会・株式会社八百半フードセンター・鹿沼市社会福祉協議会

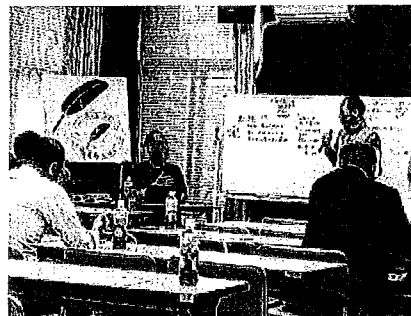
（協力：宇都宮大学地域デザインセンター地域防災部門）

- 第 1 回ミーティング（令和 5 年 7 月 26 日）
- 第 2 回ミーティング（令和 5 年 8 月 28 日）
- 第 3 回ミーティング（令和 5 年 9 月 29 日）
- 第 4 回ミーティング・研修会（令和 5 年 11 月 23 日）
- 第 5 回ミーティング（令和 6 年 1 月 16 日）
- 第 6 回ミーティング（令和 6 年 3 月 26 日）

▶ 研修会の様子



▶ ミーティングの様子



## VI. 介護・障がいと自立支援

介護保険指定事業者・障がい福祉サービス指定事業者として常に質の高いサービスの提供を心がけた。また、新型コロナウイルスが感染拡大する中、感染予防に努めながら各種事業に取り組み、誰もが住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう支援した。

### 1. 介護保険事業の推進

#### (1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）

介護保険利用希望者への総合相談、サービス利用に際しての支援計画（ケアプラン）策定、さらに高齢者支援センター（地域包括支援センター）から介護予防ケアプラン作成を受託するなど、サービス内容を総合的にコーディネートした。また、鹿沼地区介護支援専門員連絡会運営委員として積極的に活動し情報の収集に努めた。

#### <サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ回数）
居宅介護支援	1,097
介護予防支援	273
合 計	1,370

【参考資料 P32】

#### <介護区分別実利用者数>

令和6年3月31日現在（単位：名）

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
1	8	14	39	28	16	7	4	117

#### <研修・会議等への参加>

職員の資質向上とネットワークの構築を目的として、各種研修・会議等に参加した。  
 主な内容：事例検討、障がい福祉との連携、感染症対策、退院支援について等。

【参考資料 P29】

#### (2) 通所介護事業（デイサービス）

令和6年3月31日をもってデイサービスの廃止が決定し、1年をかけ利用者様に他事業所へ移動をしていただいた。利用者様には最後まで1日楽しく穏やかに過ごせるよう努めることができた。またコロナ渦の中、感染者を一人も出すことなく、1日も休止せず営業することができた。

#### <サービス提供実績>

サービス名	利用回数(延べ回数)
介護支援	989
介護予防支援	33
合 計	1,022

【参考資料 P32】

◇年間実施日数.....201日

◇1日あたりの平均利用者... 5人

◇協力ボランティア数..... 個人数：1人

散髪サービスのみ（年間実施回数 18回 利用者41名）

VI. 介護・障がいと自立支援

<介護区分別実利用者数>

令和6年2月29日現在 (単位:名)

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	0	0	1	1	0	0	0	2

【参考資料 P32】

<年間行事実績>

月	日	行事内容	参加者数
4月	11日	ハナミズキドライブ (睦町~消防署)	7名
	20日	星の宮公園散策	6名
5月	8日・9日・10日 12日・19日・22日	菖蒲湯	45名
	13日	あじさいの花見 (押原神社)	6名
6月	19日・20日	ブルーベリー狩り	14名
	7日・8日	納涼祭	14名
9月	18日	敬老会	7名
	28日	星の宮公園でランチ	3名
10月	9日・10日	運動会	10名
	27日	避難訓練	3名
	30日・31日	ハロウィン (仮装)	10名
11月	6日	紅葉狩り (ヤオハンいちごパーク)	6名
	13日~12月28日	ゆず湯	54名
12月	18日	クリスマス会	4名
1月	22日	初詣 (今宮神社)	2名
2月	5日	豆まき	2名



◇ ブルーベリー狩り



◇ 納涼祭(和楽踊り)

<研修・会議等への参加>

利用者・その家族が安心してデイサービスを利用できるよう、適切な基本知識と技術を有する看護職員・介護職員の資質向上を図るため研修に参加した。

主な内容：感染症対策・熱中症・脱水予防・虐待研修等

【参考資料 P29】

## 2. 心配ごと相談事業(介護相談)の実施

要介護高齢者やその家族のニーズに対応した各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるよう様々な情報の提供を行い、在宅介護をして行く上での問題解決を図った。

<相談対応実績(延人数)>

令和6年3月31日現在(単位:名)

介護相談	医療相談	介護家族健康相談	保健福祉サービス	住宅改修相談	介護機器相談	介護保険相談	合計
49	1	3	1	5	4	3	66

## 3. 障がい福祉サービス事業の推進

障害者総合支援法・児童福祉法等の関係法令に基づき、障がい児者が地域で安心して暮らせるよう関係機関と連携を密にし支援を行った。

### (1) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業

本人や家族の希望する生活の実現や目標達成に向けての相談や障がい福祉サービスを有効に活用するためにサービス等利用計画を作成した。また、鹿沼市自立支援協議会相談支援部会等に参加し、情報の収集や相談支援技術の向上に努めた。さらに、指定障害児相談支援事業の積極的な受け入れを行った。

(令和6年3月31日現在)

サービス名	実利用数(件)
指定障害児相談支援	27
指定特定相談支援	70

【参考資料 P32】

### (2) 研修・会議等への参加

職員の資質向上とネットワークの構築を目的として、各種研修・会議等に参加した。

- ① 事例検討会(5回)
- ② 障害児ワーキンググループ会議(3回)
- ③ その他の研修会(7回)

【参考資料 P29】

### (3) 虐待防止委員会の開催

令和6年2月29日 虐待防止委員会を開催した。

【参考資料 P29】

## Ⅶ. 養護老人ホーム千寿荘の運営

利用者それぞれに応じた個別支援計画を策定し、きめ細やかな支援に努め、明るく家庭的な雰囲気の中での利用者支援にあたった。行事・クラブ活動・レクリエーションを積極的に実施し、特に納涼祭や敬老式は規模を縮小しての開催であったが、利用者には大変喜ばれた。また、他の自治体に対しての広報活動として、入所者増を図るため市役所への訪問や広報紙の発行（年2回）を行った。

虐待や身元不明の高齢者を一時的に保護する高齢者緊急一時避難対応室運用事業は、今年度は1名（10/19～11/9）の受入れを行った。5期目の指定管理受託施設として、効率的な管理運営を行った。

### （１）利用者の状況

◇利用者数 32名 令和6年3月31日現在

◇年間異動者数 18名（新規入所5名、退所13名）

◇高齢者緊急一時避難対応室運用事業利用者 1名 (単位：名)

月別利用者内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者 (定員60名)	40	38	38	36	36	33	33	30	31	30	30	32
緊急一時避難者	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0

### （２）年間行事実績

月	行事内容	利用者参加者数 (名)
4月	4日 花見会 8日 やちよ会総会	全員
5月	24日 コロナウイルスワクチン接種	全員
6月	8日 話し合いの会 23日 利用者検診（肺レントゲン含む） 27日 お楽しみ会	全員
7月	27日 七夕飾り・納涼祭	全員
8月	10日 迎え盆 16日 送り盆	—
9月	20日 彼岸墓参り	—
10月	18日 コロナウイルスワクチン接種 26日 敬老式	全員
11月	8日 インフルエンザワクチン接種 30日 話し合いの会	全員
12月	21日 クリスマス会・忘年会 15日 利用者検診	全員
1月	11日 新年会	全員
2月	2日 節分 29日 お楽しみ会	全員
3月	5日 話し合いの会	全員

### （３）地域等との交流

今年度は、コロナ感染予防のため、市内の幼稚園・保育園、小中学校及び高校生との交流や受け入れ等を行うことができなかった。また、例年地域老人と共に行っている交流会も開催をすることができず、施設の状況を地域に知ってもらい連携を深めることもままならず、一般のボランティア団体等の訪問・交流もできない状況だったため、広報紙を作成し、県内の各市町村に配布・周知を行い、情報を発信した。来年度に向けた計画は引き続き行っていく。

## IX. 高齢者福祉センターの運営

高齢者一人ひとりが明るく希望をもち、個性を活かしながら生きがいのある健康的な生活を送れるよう、温泉施設の活用及び自主クラブ活動への支援を行うとともに、健康相談や血圧測定による健康チェックなどを実施し、利用者の健康増進を図った。

## (1) 年間利用状況

開所日数	利用者数	利用料収入
312日	52,703人(1日平均169人)	10,089,900円

## ※ 利用者内訳

60歳以上 (市内)	60歳以上 (市外)	中学生～ 60歳未満	小学生・ 障害者	無料利用者	利用者合計
37,688人	4,676人	3,830人	5,440人	1,069人	52,703人

【参考資料 P33】

## (2) 自主事業の開催

各種の教養講座や健康管理を進めることで高齢者の生きがいづくりや身体機能の維持向上を図った。

内容	開催回数	参加者数(延べ数)
健康体操講座	0回	0人
いきいき体操講座	0回	0人
らくらくヨガ講座	0回	0人
たのしい折り紙講座	0回	0人
サプライズイベント	3回	506人
合計	3回	506人

## (3) 施設の有効活用

教養講座の修了者や老人クラブ等の各種団体の活動拠点として、さらに高齢者の健康づくりの拠点として当施設の有効活用を図った。

内容	開催回数	参加者数(延べ数)
自主クラブの利用	89回	606人
健康相談	10回	38人
合計	99回	644人

## (4) 改良、改善への取組み

お楽しみ会の代替事業として、季節やお風呂の日(七夕・お風呂の日・節分)に合わせたサプライズイベントを企画し、利用者の皆様に楽しんでいただいた。

---

## 参考資料

---

1. 社協職員の研修会、会議等への参加状況
  2. 会費（年度別状況）
  3. 総合福祉センターの利用状況
  4. 表彰受賞者（鹿沼市地域福祉振興大会、栃木県民福祉のつどい）
  5. ボランティアセンター登録団体
  6. 共同募金の状況
  7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況
  8. 障がいサービスの提供状況
  9. 鹿沼市高齢者福祉センターの利用者数累計表
-

1. 社協職員の研修会、会議等への参加状況

社協全体	期日	タイトル	参加者(名)
	令和5年4月4日	第1回経理研修会	7
	令和5年5月13日	不当要求防止責任者講習会	3
	令和5年9月1日	鹿沼市関係公社等職員倫理研修会	5
	令和5年9月29日	第2回経理研修会	12
	令和5年11月24日	内部研修 倫理研修会(管理監督者)【第1回】	9
	令和5年12月4日	内部研修 倫理研修会(一般職①)【第1回】	22
	令和5年12月12日	内部研修 倫理研修会(管理監督者)【第2回】	11
	令和5年12月25日	内部研修 倫理研修会(一般職①)【第2回】	21
	令和6年1月30日	内部研修 倫理研修会(一般職②)【第1回】	28
令和6年1月31日	内部研修 倫理研修会(一般職②)【第2回】	13	
合計			131
総務課	期日	タイトル	参加者(名)
	令和5年4月14日	日本赤十字 研修会	1
	令和5年7月24日	安全運転管理者等法定講習	2
	令和5年10月5日	社会福祉法人会計実務講座初級(5日~7日)	1
	令和5年10月13日	不当要求防止研修	1
令和5年11月7日	社会福祉法人会計実務講座中級(7日~9日)	1	
合計			6
地域福祉課	期日	タイトル	参加者(名)
	令和5年4月19日	令和5年度鹿沼市権利擁護ケース検討会議【第1回】	1
	令和5年4月19日	令和5年度あすてらす連絡会議【第1回】	1
	令和5年5月12日	令和5年度一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会第11回会員総会	1
	令和5年5月23日	令和5年度法人後見事業推進連絡会議【第1回】	1
	令和5年5月26日	令和5年度市町社協地域福祉推進担当課長・係長会議	2
	令和5年6月12日	市町社協法人後見事業担当職員(専門員)研修会【第1回】	2
	令和5年6月21日	令和5年度鹿沼市権利擁護ケース検討会議【第2回】	1
	令和5年6月21日	令和5年度あすてらす連絡会議【第2回】	1
	令和5年6月28日	市町社協法人後見事業担当職員(専門員)研修会【第2回】	2
	令和5年7月11日	市町社協法人後見事業担当職員(専門員)研修会【第3回】	2
	令和5年7月25日	市町社協法人後見事業担当職員(専門員)研修会【第4回】	1
	令和5年8月16日	令和5年度鹿沼市権利擁護ケース検討会議【第3回】	1
	令和5年8月23日	令和5年度あすてらす連絡会議【第3回】	1
	令和5年9月6日	令和5年度法人後見事業推進連絡会議【第2回】	2
	令和5年9月20日	日光市社会福祉協議会との意見交換会※法人後見事業、生活福祉資金フォローアップ事業	3
	令和5年9月26日	令和5年度栃木県成年後見制度利用促進体制整備研修会【第1回】	2
	令和5年10月12日	令和5年度栃木県成年後見制度利用促進体制整備研修会【第2回】	2
	令和5年10月13日	令和5年度鹿沼市権利擁護ケース検討会議【第4回】	1
	令和5年12月7日	令和5年度栃木県成年後見制度利用促進体制整備研修会【第3回】	2
	令和5年12月13日	従事者養成研修会(専門員)並びに令和5年度第5回あすてらす連絡会議	2
	令和5年12月20日	令和5年度鹿沼市権利擁護ケース検討会議【第5回】	1
	令和6年1月18日	令和5年度栃木県成年後見制度利用促進体制整備研修会【第4回】	2
	令和6年1月24日	法人後見立ち上げ検討に関する情報交換会【第2回】	2
令和6年2月9日	令和5年度法人後見事業推進連絡会議【第4回】	2	
令和6年2月14日	令和5年度あすてらす連絡会議【第6回】	2	
令和6年2月21日	令和5年度鹿沼市権利擁護ケース検討会議【第6回】	1	
令和6年2月26日	下野市社会福祉協議会との意見交換会※法人後見事業	3	
合計			44

参考資料

障がい福祉サービス事業 ～職員資質向上、ネットワーク形成～

障がい福祉サービス事業	期日	タイトル	参加者(名)
	令和5年6月14日	事例検討会①	2
	令和5年6月15日	障がい児WG①事業者情報交換会	2
	令和5年6月28日	県西圏域連絡会①情報交換会	1
	令和5年7月12日	事例検討会②	2
	令和5年7月19日	発達障害研修	2
	令和5年8月4日	こどもの心の相談支援体制強化支援者研修	2
	令和5年8月8日	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム研修	2
	令和5年8月23～24日	医療的ケア児支援者養成研修	2
	令和5年10月11日	事例検討会③	2
	令和5年10月13日	不当要求防止研修	2
	令和5年10月19日	障がい児WG②事例検討研修	2
	令和5年11月22日	事例検討会④	2
	令和6年2月14日	事例検討会⑤	2
	令和6年2月22日	障がい児WG③	2
令和6年2月29日	虐待研修	2	
合 計			29

居宅介護支援事業～職員資質向上、ネットワーク形成～

居宅介護支援事業	期日	タイトル	参加者(名)
	令和5年6月12日	疲弊しない為の自己メンタルヘルス研修会	3
	令和5年6月23日	市町社協連絡会議	2
	令和5年8月22日	BCP策定のための感染症の基礎知識	3
	令和5年10月20日	障がい福祉との連携の仕方について	2
	令和5年11月10日	上都賀総合病院 退院支援チーム研修会	2
	令和5年10月13日	不当要求防止研修	1
	令和5年10月30日	介護サービス事業所向けBCP	3
	令和5年12月13日	福祉サービス苦情解決研修会	1
	令和5年12月15日	病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修	2
	令和6年2月29日	虐待研修	3
	令和6年3月11日	ケアマネって何刀流?～ケアマネの仕事はどこまでか考えよう～	2
	令和6年3月13日	東地域包括エリア内居宅交流会及び検討会	1
	令和6年3月18日	身寄りのない・低所得者の支援	1
合 計			26

通所介護事業（デイサービス）～利用者及び家族が抱える介護ニーズに対応～

通所介護事業	期日	タイトル	参加者(名)
	令和5年4月14日	感染症対策研修（オンライン）	1
	令和5年4月24日	感染症対策研修（オンライン）	2
	令和5年4月24日	利用者へのプライバシー保護と接遇の取り組み	6
	令和5年5月29日	熱中症・脱水予防	6
	令和5年7月12日	認知症研修（福祉プラザ）	1
	令和5年8月17日	口腔ケア研修（福祉プラザ）	1
	令和5年8月24日	介護従事者研修（福祉プラザ）	1
	令和5年9月22日	負担の少ない移動・移乗研修	1
	令和5年10月27日	避難訓練	5
	令和5年10月30日	感染症対策研修（Zoom）	1
	令和5年11月9日	看護師研修（福祉プラザ）	1
	令和5年11月14日	コミュニケーション講座	1
	令和5年11月30日	感染症対策（zoom）	1
	令和5年12月15日	認知症研修（Zoom）	1
令和6年2月29日	虐待研修（Zoom）	1	
合 計			30

## 2. 会費(年度別状況)

会費区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)
普通会費 1口500円	19,527	9,760,322	19,505	9,768,415	19,014	9,501,558	18,580	9,286,952	17,851	8,929,138
賛助会費 1口2,000円	70	140,000	73	146,000	66	132,000	57	114,000	54	104,000
特別会費 1口3,000円	28	85,000	30	90,000	34	103,000	27	82,000	24	73,000
団体会費 1口5,000円	80	400,000	113	565,000	100	500,000	107	535,000	138	678,770
合 計	19,705	10,385,322	19,721	10,569,415	19,214	10,236,558	18,771	10,017,952	18,067	9,784,908

## 3. 総合福祉センターの利用状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ件数(件)	1,272	893	1,086	1,446	1,364
延べ人数(人)	11,098	5,224	6,227	9,952	11,270

## 4. 表彰受賞者

### (1) 令和5年度鹿沼市地域福祉振興大会

#### ①大会会長表彰受賞者 略)

(順不同・敬称)

区 分	氏 名		
地域福祉功労者・団体	地区社協会長		
	寄川 良一		
	自治会長		
	若林 実	鈴木 孝	手塚 薫
	山口 太平	渡辺 俊	仲田 隆

#### ②大会会長感謝状受贈者

区 分	氏 名		
ボランティア功労者・団体	石川 義夫	伊藤 昌子	川中子 金作
	堀田 静子	小島 奈美子	上沢 利子
	片岡 たみ	吉村 功	関口 みち子
	小杉 ヨシ子	吉川 赫	
	大和田町サロン		
	日の出サロン		
	ことぶきサロン		
	下永野よつ葉会		
	寄 附 者		
	株式会社 安田測量		

(2) 第28回栃木県民福祉のつどい

① 栃木県知事表彰

区 分	氏 名
共同募金運動協力団体又は協力者	夏井 洋一

② 栃木県社会福祉協議会会長表彰

区 分	氏 名		
社会福祉施設・団体関係功労者	鈴木 和美	小島 千枝子	菅野 愛美
	稲川 賢	石川 翔太	神山 智美
	白田 加奈美	篠原 恵美	福井 奈央
	田崎 明子	中村 剛雅	渡邊 祐希
	福田 真輔	小太刀 礼子	矢吹 扶美子
	根本 緑	平石 晴紀	渡辺 知子
	荒川 裕子	小菅 浩江	上原 泰子

③ 栃木県共同募金会会長表彰

区 分	氏 名	
共同募金功労者	落合 美津雄	石澤 重雄

5. ボランティアセンター登録団体

No.	名 称	主な活動内容
1	おはなしと人形劇のまざあぐらす	人形劇公演、読み聞かせ
2	ボランティア「みなみ」	独居高齢者を対象にした友愛訪問
3	鹿沼地区手話通訳者連絡会	手話通訳、聴覚障害者との交流
4	ふみの会大正琴	施設訪問、地域サロンの参加
5	お話ボランティアネットワークかぬま	独居老人等の話し相手
6	介護服リフォーム“ミモザ”	高齢者や障害者の衣類のリフォーム
7	点訳グループ「桐」	点訳ボランティア、視覚障害者との交流
8	ボランティアグループあった会	高齢者住居周りの片付け・修繕、イベントへの参加
9	ボランティア ふれあい	独居高齢者の友愛活動
10	要約筆記サークルいちご	パソコンを使った文書通訳
11	朗読グループいずみ	朗読ボランティア、施設訪問
12	おはなしボランティア“ノアの会”	絵本・紙芝居・手遊び・歌遊び・工作
13	ボランティアグループ 春風	施設訪問(舞踊、唄、三味線)
14	フラダンス とりあえず	施設訪問、地域イベント活動
15	シルバー一大学校同窓会鹿沼支部	社会奉仕活動
16	傾聴ボランティアありのまま鹿沼グループ	傾聴ボランティア

参考資料

17	ボーイスカウト鹿沼第1団	自然体験活動、社会奉仕活動
18	ボーイスカウト鹿沼第4団	自然体験活動、社会奉仕活動
19	楽しく踊ろう会 よさこい鹿沼	施設訪問、地域イベントへの参加
20	NPO 法人 レインボー	子育て関連の活動
21	災害ボランティアグループ チームかぬま	被災地支援、市内各種ボランティア活動
22	絵本とおはなしの会	絵本の読み聞かせ
23	鹿沼市中途失聴・難聴者協会	中途失聴・難聴者に関連する活動
24	デイジーこだま	視覚障がい者への情報提供(デイジー製作)
25	シルバー大ラーニング飛翔	社会貢献活動
26	鹿沼市聴覚障害者協会	デフサロン

6. 共同募金の状況

単位：円

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
A募金	4,727,000	4,156,000	4,156,000	4,657,000	4,191,000
B募金	9,577,000	7,958,200	7,630,678	6,853,927	7,422,762
合計	14,304,000	12,114,200	11,786,678	11,510,927	11,613,762

A募金：第1種社会福祉事業、更生保護事業、保育園を運営する事業、全県的に活動している福祉団体等の事業に配分されるもの。

B募金：第2種社会福祉事業、市町を単位とする社会福祉協議会の地域福祉推進事業に配分されるもの。

7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況

サービス内容		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)
ケアプラン 作成	介護	94	932	136	967	153	1,097
	予防	23	221	23	210	31	273
デイサービス	介護	24	1,771	28	1,633	18	989
	予防	9	331	6	291	2	33

8. 障がい福祉サービスの提供状況

サービス内容	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)
指定障害児相談支援	5	17	8	26	27	192
指定特定相談支援	68	378	65	373	70	396

# 高齢者福祉センター R5年度 利用者数累計表

(単位:人)

区分	市内(有料)利用者					市外(有料)利用者				無料利用者			利用者合計 ④ (①+②+③)	開所日数⑤	1日平均 利用者数 ④÷⑤
	60歳以上		60歳未満		身障者・小学生	市内計①	市外	キャンプ場	市外計②	未就学児他	免除(条8)	無料計③			
	60歳以上	60歳未満	60歳未満	身障者・小学生											
12~17年度	500,498	107,029	51,566	659,093	35,722	/	/	35,722	/	/	50,028	50,028	744,843	1,808	412.0
18年度	69,144	12,540	10,615	92,299	3,110	/	/	3,110	/	/	8,594	8,594	104,003	301	345.5
19年度	67,798	11,437	9,978	89,213	2,684	/	/	2,684	/	/	7,620	7,620	99,517	302	329.5
20年度	68,380	11,543	10,675	90,598	2,785	/	/	2,785	/	/	8,180	8,180	101,563	304	334.1
21年度	68,749	9,482	10,033	88,264	2,657	/	/	2,657	/	/	8,716	8,716	99,637	302	329.9
22年度	63,634	5,166	7,706	76,506	2,245	4,766		7,011	1,455	3,109	4,564	4,564	88,081	291	302.7
23年度	55,889	4,109	7,244	67,242	1,968	4,171		6,139	1,278	2,996	4,274	4,274	77,655	295	263.2
24年度	62,896	3,664	8,332	74,892	2,303	4,556		6,859	1,428	2,596	4,024	4,024	85,775	313	274.0
25年度	63,052	3,377	8,248	74,677	2,166	4,777		6,943	1,432	2,443	3,875	3,875	85,495	314	272.3
26年度	67,442	3,335	7,425	78,202	2,376	4,929		7,305	1,645	3,130	4,775	4,775	90,282	313	288.4
27年度	64,094	7,400	9,153	80,647	2,528	/	/	2,528	1,444	3,573	5,017	5,017	88,192	301	293.0
28年度	62,810	7,772	9,440	80,022	4,681	/	/	4,681	1,439	2,588	4,027	4,027	88,730	307	289.0
29年度	57,060	7,114	8,154	72,328	5,274	/	/	5,274	1,204	2,087	3,291	3,291	80,893	282	286.9
30年度	60,145	7,080	8,008	75,233	7,336	/	/	7,336	1,070	3,207	4,277	4,277	86,846	302	287.6
元年度	54,329	6,606	6,829	67,764	7,810	/	/	7,810	1,031	5,444	6,475	6,475	82,049	283	289.9
2年度	18,378	540	1,960	20,878	0	/	/	0	20	1,294	1,314	1,314	22,192	257	86.4
3年度	16,607	851	1,708	19,166	527	/	/	527	57	976	1,033	1,033	20,726	245	84.6
4年度	31,017	3,119	4,081	38,217	2,508	/	/	2,508	402	817	1,219	1,219	41,944	308	136.2
5年度	37,688	3,830	5,440	46,958	4,676	/	/	4,676	342	727	1,069	1,069	52,703	313	168.4
合計	1,489,610	215,994	186,595	1,892,199	93,356	23,199		116,555	14,247	118,125	132,372	132,372	2,141,126	7,141	267

※ 12~21年度については、キャンプ場利用者を区別して集計していない。同様に、小学生未満の児童についても、区別して集計していないので、免除(条8)区分に含まれる。

※ 27年度より、市外料金及びキャンプ場利用者区分を廃止した。